

徳島市公の施設指定管理制度導入に対する評価

評価期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

施設名		阿波おどり会館				
指定管理者	阿波おどり会館・眉山ロープウェイ運営共同事業体	担当課	にぎわい交流課			
指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで	公募・非公募の別	公募			
施設の所在地	徳島市新町橋2丁目20番地	事業の概要	阿波おどり会館施設維持管理設備等の保守・点検業務、受付業務(阿波おどりミュージアム、駐車場、自主事業(阿波おどり公演他)、活動室の貸出			
施設の概要	鉄筋コンクリート造地下1階5階建阿波おどりミュージアム、阿波おどりホール(250名収容)、活動室(4室)、駐車場(26台収容)					
利用状況に関すること	項目名	令和2年度	令和3年度	項目名	令和2年度	令和3年度
	利用者数等	15,085人	17,181人	自主事業参加人数	19,136人	25,391人
収支状況に関すること	利用回数	回	回	事業開催数	回	回
	指定管理料	80,689千円	80,689千円	人件費	41,775千円	37,904千円
	利用料収入	16,526千円	17,975千円	管理費	56,504千円	52,560千円
	その他収入	7,188千円	626千円	その他	0千円	0千円
	収入実績(総額)	104,403千円	99,290千円	支出実績(総額)	98,279千円	90,464千円
自主事業	項目名	令和2年度	令和3年度	項目名	令和2年度	令和3年度
	事業内容	阿波おどり会館2階ホールを利用して阿波おどりの公演、4階活動室で三味線教室、自動販売機設置、レンタサイクル事業等の実施 ※阿波おどり公演については新型コロナウイルスの拡大により休演期間あり	阿波おどり会館2階ホールを利用して阿波おどりの公演、4階活動室で三味線教室、自動販売機設置、レンタサイクル事業等の実施 ※阿波おどり公演については新型コロナウイルスの拡大により休演期間あり	自主事業参加人数	19,136人	25,391人
収支状況に関すること	収入	13,665千円	16,750千円	支出	38,883千円	45,620千円
評価基準・評価項目		指定管理者自己評価コメント				担当課評価
施設管理体制	(1) 法令等遵守	適宜、職員会議を開催し法令等遵守、安全管理の情報共有、緊急時マニュアルの確認等も行っています。職員研修に関しても必要時に実施しています。				A
	(2) 職員配置	備品等に関しても整理整頓し、返却等の確認をしています。利用促進については、コロナ禍ではありますが、ミュージアムに関しては、スマートフォンでQRコードの読み取りで外国語翻訳対応を行っております。また、広報については、ホームページ・SNS等により実施しています。また、コロナ対策には万全を期して取り組んでいます。				
	(3) 職員研修					
	(4) 利用促進の取組み					
	(5) 設備・備品管理					
	(6) 安全管理体制					
	(7) 緊急時の体制					
利用者に関する	(1) 利用状況	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により年間23日間臨時休館したほか、ミュージアムに関してはエアコンの故障により、夏季の42日間は休業せざるを得ませんでした。また、夜間に実施している毎日おどる阿波おどりも前年度に引き続き年間を通して休演、最も集客が期待できるお盆期間の阿波おどりも、県内在住者向けに規模も縮小された開催となり、コロナ禍以前と比較すると大幅に減少となってしまいました。このような中で、利用料金等の変更もなく、接客についても親切・丁寧を心がけるようスタッフに周知徹底しています。個人情報保護に関しても職員会議により案件を出し合い確認し情報共有しています。また、施設利用のリピーター獲得を図る「阿波おどり会館MEMBERS」を創設し、会員スタンプカードを配布し一定以上の利用料金支払いでロープ乗車券無料等サービスを実施しています。				A
	(2) 平等な利用					
	(3) 利用料金					
	(4) 接客対応					
	(5) 個人情報保護					
	(6) サービス向上の取組					
施設維持管理	(1) 保守点検業務	保守計画に基づいて実施、確認しています。特に清掃については、委託業者のみならず会館職員も気づいたら清掃を実施しています。また、修繕に関しては大きな修繕等は徳島市と協議し、小さい修繕に関しては早急に手配し修繕を実施しています。				A
	(2) 清掃等維持管理業務					
	(3) 修繕等維持管理					
実施事業	(1) 企画運営事業	コロナ禍ではありますが、会館まつり(開館記念イベントとして、昼の公演の拡充及びミュージアムの無料)を実施。また自主事業としてはコロナ禍で夜実施している「毎日おどる阿波おどり」は休演していますが、昼のおどり「おどらなぞんぞん阿波おどり」に関しては、感染対策を行い実施しています。				A
	(2) 自主事業					
経理状況	(1) 施設収支状況	コロナ禍により、インパウンドの減少(0に等しい)、国内も旅行者が著しく減少したことにより、厳しい経営状況ですが、電灯の細かな消灯等経費の削減に努めています。				A
	(2) 指定管理者経営状況					
	(3) 経費の縮減					
評価基準	S:優れている(協定書、仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。) A:適正に管理されている(協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。) B:一部に改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の一部が実施されなかった。) C:多くに改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。)					
担当課総合評価コメント					総合評価	
コロナ禍という状況ではありますが、可能な範囲でのイベント実施や集客を行い、来場者増に取り組んでいました。概ね協定書等に沿った管理運営を行うことができていました。					A	
総合評価基準	S:優れている(各評価基準ごとの担当課評価にSがあり、その他はAである。) A:適正に管理されている(各評価基準ごとの担当課評価が全てAである。) B:一部に改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にBがあり、Cはない。) C:多くに改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にCがある。)					